

まちづくりデザイン部長マニフェスト

まちづくりデザイン部長 平尾 雅則
(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

私の思い

柏原市のまちづくりについては、人口の減少と高齢化を背景として、第4次柏原市総合計画に基づく利便性の高い良好なまちづくりを目指すために、市街化区域において、医療・福祉・商業等の都市機能と住居等の生活機能がコンパクトに集積し、地域交通との連携が良好となる市街地環境を形成させることが、これからのまちづくりに重要であると考えます。



そのためには、無秩序な開発の防止に努め、周辺環境と調和した美しい都市景観の形成を図るとともに、道路整備や緑地保全などの計画と相互補完することによって、地域特性を踏まえた個性と魅力あるまちづくりの推進に努めます。

また、近い将来、発生が予測されている大規模地震に備え、「準防火地域」を拡大し、都市の防火機能の向上を図るとともに、耐震診断・耐震改修の促進にも努め、安全・安心なまちづくりに積極的に取り組みます。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

重点課題

- ① コンパクトなまちづくりに向けた計画的な土地利用の検討
- ② 災害に強いまちの構築

コンパクトなまちづくりに向けた計画的な土地利用の検討

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

遂行目標

人口の減少と高齢化社会を背景として、20年、30年先を見据えた安心して快適な都市経営を持続可能とするために、医療、福祉施設、商業施設等や住居等がまとまって立地し、公共交通が連携するコンパクトなまちづくりに継続して取り組む。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトプット (活動指標)

- ・モデル地区の立案については、公共施設の統廃合、配置計画等が密接に関連することから、公共施設等総合管理計画との連動や整合性を図り、継続して検討を進める。
- ・空家等対策推進事業を推進する。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトカム (成果指標)

- ・第4次柏原市総合計画施策目標の「必要な都市機能がまとまった利便性の高い良好なまちづくりの推進」に基づき、今後の都市づくりの指針となる。
- ・市内の空家の実態調査を実施し、対策計画を策定することで、今後は計画に基づき、利活用も含め、まちづくりの中で空家等対策の推進が図れる。

災害に強いまちの構築

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

遂行目標

平成 20 年 7 月、「柏原市耐震改修促進計画」を策定し、既存建築物の耐震診断や耐震改修についての補助制度を構築しています。

平成 28 年度においても補助制度を継続し、より事業の推進に向けて、制度の啓発に重点をおき、住宅所有者の耐震化への支援の拡充に取り組み、まちの耐震性能の向上を目指します。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトプット (活動指標)

- ・平成 28 年度耐震診断件数 (目標値) : 30 戸
- ・平成 28 年度耐震改修件数 (目標値) : 15 戸

【参考】実績件数

- ・平成 27 年度 耐震診断 : 20 戸
- 耐震改修 : 6 戸

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトカム (成果指標)

耐震化の促進により地震発生時の倒壊建物が減少し、まちの耐震性能の向上が図れる。